



これからも見守ってゆく

少年補導員としての長年の活動に感謝状

7月19日、少年補導員として長年活動を行ってきた西田明敏さん(広崎5町内)に、御船警察署の瀬河清信署長から感謝状が贈呈されました。

西田さんは、平成14年から16年間の長きにわたり町内の遊技場やコンビニを巡回し、たむろしている子どもたちなどに指導を行ってきました。今年補導員を引退する西田さんは、「補導員になったのは、地域づくり活動がきっかけ。これからも補導員のような気持ちを持って、指導や活動を続けていきたい」と話しました。



感謝状を掲げる西田さん



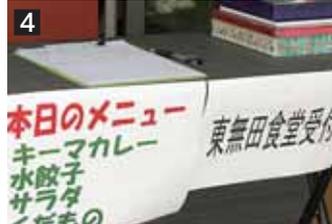
1



2



3



4

1 みんなで囲む食卓に話も弾みます 2 暑い中、グリーン生活協同組合くまもとの職員と、地域の女性グループ「サークル絆」の皆さんが調理を行っています 3 4 栄養たっぷりの今回のメニューも“お客さん”たちに大好評でした

みんな笑顔でおいしい料理に舌鼓

地域の人たちでにぎわう「東無田食堂」

小池・島田仮設団地みんなの家で7月9日、“地域の食堂”「東無田食堂」が実施されました。

高齢化や世帯の少人数化などで料理を作らなくなった人たちの自立や栄養バランスのとれた食事に少しでも寄り添おうと東無田復興委員会(田崎眞一代表)とグリーンコープ生活協同組合くまもと(高濱千夏理事長)が昨年から共催で行っているこの催しは今回で4回目。この日は仮設住宅に入居している人や自宅を再建して仮設住宅を退去した人など約30人が訪れ、キーマカレー、水ギョーザ、サラダ、フルーツなど、心のこもった栄養たっぷりの昼食に「おいしい」と口をそろえ、お互いの近況などに関するおしゃべりに花を咲かせていました。

初めて訪れた増田峯子さん(東無田)は、「久しぶりにみんなとおしゃべりをしながら楽しく食事ができました。また参加したい」と満足そうに話しました。

来店しやすいようにと、食事は200円の有料サービス。みんなで食べる“お昼ご飯”に、訪れた人たちは普段よりも食欲が増していたようです。なお、調理にはサークル絆の女性たちも参加しています。

食材の提供と調理を行っている同生協の高濱理事長は「一食でも多く栄養のある食事をとってもらいたい」と、また、田崎代表は「後々は、公民館等を利用し、地域主体による食堂を開きたい」と話しました。

Best Smile

今月のベスト笑顔

